

豊かな水を守るために!

水源環境保全税^{※1}(個人県民税の超過課税)を財源として、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」(19～23年度)に基づき水源環境の保全・再生事業に取り組んでいます。

※1 納税者一人当たりの平均負担額は年額約950円

報告します!

20年度の主な事業実績

豊かな水を育む森の保全・再生

手入れが必要な2,554^{※2}の森林について、枝打ちや間伐を行いました。

あわせて、公的に管理する水源林として新たに1,656^{※2}(累計11,721^{※2})を確保しました。

また、水源地域のうち最も重要な丹沢大山において、植生の回復を図るため、17^{※2}の土壤流出防止対策を行いました。

※2 横浜スタジアム約980個分の面積



土壤流出防止対策 (丹沢大山)
様々な手法を組み合わせ、土壤流出を防止しています。

清らかな水源の保全・再生

市町村が行う河川・水路における自然石や水質浄化ブロックの設置などの自然浄化対策(13カ所)を支援しました。

また、ダム湖の水質を改善するため、ダム集水域の公共下水道(28^{※2})や高度処理型合併処理浄化槽(113基)を整備する市町村に対し支援を行いました。



河川整備 (小田原市桑原)
水辺の生態系の保全・再生(多自然型水路整備)を図っています。

水源環境保全・再生を支える取り組み

施策に県民意見を反映するため「水源環境保全・再生かながわ県民会議」を19年度に設置し、20年度から本格的な活動を開始しました。

県民会議の主な活動実績

- ▶ 県内3地域で県民フォーラムを開催、計491人の参加者からいただいた134件の意見をとりまとめ知事に報告しました(19年度以降6回開催、計1,033人が参加。計303件の意見)。主な意見として、林業従事者の育成、生活排水対策の推進や次世代を担う子どもへの啓発促進などが出されました。
- ▶ 水源環境保全税を財源とする施策の点検・評価を行い「かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題(点検結果報告書)」にまとめ、知事に提出しました。その中で、森林整備の担い手対策(人材の養成・確保など)の必要性などを報告しました。

..... 寄付の心から感謝します

水源環境保全・再生に向けた取り組みに対し、法人・団体・個人の皆さんから20年度に計90万5,000円の寄付をいただきました。

引き続き、趣旨に賛同いただける皆さんからの寄付をお待ちしています。

【問合せ】県緑政課 ☎045(210)4324 045(210)8848

かながわの水源環境

検索